

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（4月）

三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 生育の状況

管内のは種作業は平年で4月12日が始め（水稲作付面積の5%）、4月16日が最盛期（同50%）となっている。

表1 管内は種進捗状況

	本年	平年
は種始（5%）	4月 日	4月12日
は種盛期（50%）	—	4月16日
は種終（95%）	—	4月22日

(2) 今後の対策等

適正な温度・水分・肥培管理を徹底する。

効果的な水管理をするため、畦畔のかさ上げ・補強・整備を行う。

2 小麦

(1) 生育の状況

4月10日現在の生育状況は、草丈は平年より1cm長く、m²当たり茎数は平年より240本多かった。

幼穂形成期は4月2日で、平年より4日遅かった。

表2 小麦生育調査結果（4月10日現在） 品種：ネバリゴシ

場所		は種日 (月・日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	幼穂形成期 (月・日)
八戸市 市川町	本年	10月13日	18	1,101	4月2日
	前年	10月2日	22	1,063	3月18日
	平年	9月29日	17	861	3月29日

※ 平年はH26～R5の平均値

(2) 今後の対策等

適期の病虫害防除及び追肥に努める。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

春掘の収穫作業は3月25日頃から始まり、例年より10日程度遅れているものの、好天により4月10日時点の作業は順調に進んでいる。

(2) 今後の対策・指導等

地温上昇による芽の動き出しや、スポンジ症等による品質低下を軽減するため、4月末を目途に掘取りを終了する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

7月上旬出荷の作型は、3月25日頃から定植作業が始まっており、例年より15日程度遅れたものの、その後の定植作業は順調に進んでいる。

(2) 今後の対策等

計画的に定植作業を行う。また、4月下旬から5月にかけては、風が強く、乾燥しやすい時期となるため、不織布被覆などによる防風対策や定期的にかん水を行う。

3 にんにく

(1) 生育の状況

4月10日現在の草丈、葉数は、五戸を除き平年を上回り、生育は順調に進んでいる。五戸では、草丈は平年を上回ったが、生葉数は平年をやや下回った。病害虫の発生は、特にみられていない。

表3 生育調査結果（4月10日現在）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈(cm)	生葉数(枚)	茎径(mm)
五戸 (上兎内)	本年	白玉王	10月3日	グリーン	-	38.5	4.4	15.2
	平年比		-	-	-	115%	94%	-
	*平年		9月29日	-	4月19日	33.4	4.7	14.7
	*前年	白玉王	10月1日	グリーン	4月9日	44.8	5.7	15.8
旧倉石 (又重)	本年	在来種	10月2日	グリーン	-	39.3	4.9	16.0
	平年比		-	-	-	122%	109%	-
	平年		9月30日	-	4月20日	32.1	4.5	15.0
	前年	在来種	9月26日	グリーン	4月10日	47.4	5.3	15.7
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10月5日	グリーン無穴	-	35.5	4.5	14.7
	平年比		-	-	-	120%	106%	-
	平年		10月3日	-	4月20日	29.5	4.3	10.8
	前年	在来種	10月6日	グリーン無穴	4月11日	38.5	4.6	13.8
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	9月30日	グリーン	-	44.9	5.5	14.4
	平年比		-	-	-	135%	121%	-
	平年		10月6日	-	4月17日	33.2	4.6	13.8
	前年	白玉王	10月2日	グリーン	4月10日	45.1	6.4	14.6

※平年値について（五戸はR3から調査地点変更）

五戸：H13年～R5年までの過去23年間の平均値（参考値）

旧倉石：H16年～R5年までの過去20年間の平均値

新郷：H16年～R5年までの過去20年間の平均値

田子：H26年～R5年まで（R2年を除く）の過去9年間の平均値

表4 病害等発生状況調査結果（100株調査：4月10日現在）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	0%	0%	0%	6%
旧倉石	0%	0%	0%	5%
新郷	0%	0%	0%	0%
田子	0%	0%	0%	0%

(2) 今後の対策等

マルチが剥がれた箇所があれば、早めに補修する。明きよの手直しをするなど、排水対策を徹底する。葉先枯れ症状が見られたり、葉色が淡いほ場では、病害防除と併せて、葉面散布剤を活用して生育促進に努める。病害は、降雨前の薬剤散布を徹底する。

4 いちご

(1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高は40.3cm（平年比119%）と平年をかなり上回っている。観測しているハウスでは、現在、開花～着果中である。

「よつぼし」は、草高は26.8cm（平年比113%）と平年をかなり上回っている。観測しているハウスでは、現在、着果～収穫中である。病害虫は、オンシツコナジラミの発生が見られる。

表5 生育調査結果(令和6年4月11日現在)

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年	8月25日	40.3	25.8	11.4	8.8
	(平年比)	(1日遅い)	(119%)	(110%)	(123%)	(122%)
	平年	8月24日	33.9	23.4	9.3	7.2
	前年	8月26日	40.1	29.4	9.1	7.1
よつぼし	本年	9月5日	26.8	19.1	7.2	5.5
	(平年比)	(5日遅い)	(113%)	(117%)	(104%)	(98%)
	平年	8月31日	23.8	16.3	6.9	5.6
	前年	9月3日	28.4	19.7	7.2	5.8

※定植日：とちおとめ8/25、よつぼし9/5

平年：「とちおとめ」平成17～令和5年

(但し、定植日については平成28年～令和5年の8か年平均)

「よつぼし」平成30～令和5年

(2) 今後の対策等

適正な温度管理を行う。

本ぽでのうどんこ病やオンシツコナジラミ、ハダニ類、育苗ほにおける炭そ病の防除を徹底する。